

教科	学校名	職名	氏名	派遣先	期間	研究テーマ
商業	福島県立平商業高等学校	教諭	鈴木勝彦	郡山日本タイプ	7月26日 8月5日	和文タイプライタの保守技術
	〃	実習助手	川野裕子	〃	〃	〃
	福島県立須賀川高等学校	教諭	荒井幸雄	日本電気株式会社	7月26日 8月5日	フォートラン
家庭	福島県立安積女子高等学校	〃	堀江敏子	ジャンメシミン工業株式会社	7月21日 7月27日	ジグザクミシンを活用した能率的な縫製の研究
	〃 大沼高等学校	〃	二瓶カヨ子	株式会社伊勢丹プチモンド	8月15日 8月20日	和・洋・中華料理の実習
	〃 会津農林高等学校	〃	千葉房	文化服装学院	7月25日 7月30日	被服縫製に関する研究
	〃 東白川農商高等学校	〃	佐藤洋子	福島県衛生所 公害研究所	8月8日 8月13日	食品添加物・食品衛生に関する実験
	〃 小野高等学校	〃	佐藤史枝	〃	〃	〃
	〃 会津農林高等学校	〃	二瓶和子	〃	〃	〃
	〃 川口高等学校	〃	栗村美智子	〃	〃	〃
	〃 聾学校	〃	遠藤トモコ	〃	〃	〃

(2) 県主催の研修講座とその内容

昭和52年度産業教育現代化講習会

ア 目的

本県産業教育の現状を分析し、将来の方向をみだし、当面する諸問題について研究協議し、産業教育の現代化を図るとともに、関係教員の指導力の向上に資する。

イ 期日・会場・参加人員

期日 昭和53年1月23日(月)～25日(水)

会場 福島県教育センター

参加人員 農業 17人、工業 19人、商業 22人
家庭 31人 合計 89人

ウ 研修主題

- 農業 農業教育の改善に関する実践研究。
- 工業 実験・実習の指導について。
- 商業 実技・実習科目（計算実務・タイプライティング）の指導について。
- 家庭 ホームプロジェクト及び家庭クラグ研究活動の指導について

エ 講師・助言者

日本大学工学部助教授 大内 一 雄
日本タイプ株式会社指導部長 伊勢谷 堅 吾
東白川農商高等学校教諭 筒井 清

福島西女子高等学校教諭

甲野藤 ノブ

岩瀬農業高等学校教諭

山 県 アサ子

第11節 定時制・通信制教育

後期中等教育の機会を広く勤労青少年に与えるための定時制・通信制教育は、近年そのあり方について検討・改善が加えられつつある。

すなわち、全日制の課程への進学率の急激な上昇や社会情勢の著しい変化に伴う生徒数の変動や入学者の多様化をきたしている。定時制への進学は減少の一途をたどっており、更に都市部の夜間高校に集中する傾向が見られる。また、通信教育は、独特の教育形態をもっているため、単に高等学校教育の領域からだけでなく、生がい教育の観点からも見直されつつある。

このような実態をふまえ、ここに学ぶ必要のある勤労青少年や成人のために、定通教育を担当する教員が教育内容や教育方法を研究し、その資質の向上を図るため次の事業を行った。